

2017-11 (No.094.96HQ)

NEW

アストロ・インフォメーション



☆☆ M33 ☆☆

撮影：足立 紀彦（大分県臼杵市）

撮影日時 2017年10月26日

GS-250RC/CT 0.75xRD EOS6D 80分 EQ8PRO

大分天文協会

Astronomical Society of Oita





☆☆ 大分天文協会2017年11月例会開催されました ☆☆

2017年度11月の月例会が無事開催されました。参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

日時：11月01日（第一水曜日） 19時より

場所：コンバルホール地下1階団体活動室

参加者（12名）順不同です：

吉野夫婦・山本・古長・津田・奈須・丸野・田崎・足立・多田（四国より）・小田・安元（見学）



主な内容

①10月の活動報告

10月04日(水)例会 <コンバル団活>

10月14日(土) 九重青少年の家 公開天体観測及び写真撮影会

24名参加、雨天ながら無事終了しました、お疲れ様です。

担当者：山本・川端・奈須・足立・（古長：主催者）

★10月21日(土) 月例観測会(月齢1.3)オリオン座流星群<香りの森> 台風のため中止

★10月22日(日)「青少年のための科学の祭典大分大会2017」 <大分市大在公民館>・・・台風のため中止（延期予定）

②11月以降の活動計画打ち合わせ。

以下の予定です、詳しくは後日連絡いたします。

【11月】

11月01日(水)例会 <コンバル団活>

11月17日(金) 月例観測会(月齢29)しし座流星群<香りの森> 予定>

【12月】

12月 2日(土) 忘年会<場所未定>

12月 6日(水) 例会 <コンバル団活>

12月14日(木) ふたご座流星群(月齢26) <平日なので各自>

③会報などの紹介

今月も多くの団体から立派な活動の会誌などを頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

・星屑 NO. 512 熊本県民天文台
・NSA速報 NO.233 長崎県天文協会



④10月の観測報告

10月は例年になく雨の多い秋となりました、大分など平年の3から4倍も雨が降ったそうで当然観測出来る日も少なく、星屋の皆さんストレスMAXとなった月でした。

それでも雲の間隙をぬってちょこちょこ観測された方が多く色々なお話で盛り上がりました。

⑤今月のオークションコーナー

今月のオークションは特にありませんでした

⑥「機材・お宝紹介」コーナー

今月は特にありませんでした。

⑦洲さんのリニューアル双眼鏡コーナー

今月は特にありませんでした。

⑧南限ギリギリ天体観測&天文気象講座

今月は特にありませんでした。

⑨画像処理講習会

今回は田崎師匠（勝手に命名）が講師です。

今回のテーマは「ギラギラ星を小さく！」画像処理をしていくと星雲などを強調すればするほど周りの恒星も強調され大きく肥大し白飛びし、天の川付近などでは無数の星がギラギラ星になり、見難くなってしまいます。星雲だけ強調し、恒星は強調しない！又は、恒星を小さく見えるように！これらの方法を重点的に説明していただきました。手法は幾通りもあるようで、俗にいう「星マスク」ではなく、PSを使っの初歩的な方法の様でした。このテーマについては、みなさん関心が高い様で、師匠のパソコンに群がって解説を聞いていました。ご苦労様でした。



⑩例会には、四国在住の県外会員の多田さんが参加してくれました。遠く高松市から単身遊びに来るそのガッツと体力には脱帽です。前日は阿蘇のルナ天文台に押し掛けたり、竹田市の素敵なお宿でヤノメガネ（奈須さん）提供の望遠鏡で月の撮影をしたりとかあちこち満喫して最後に例会に参加してくれました。来ていただけるだけでも大感激なのに、四国のお土産もいっぱい持って来てくれて、感謝感激です！皆で美味しくいただいたり、残りはじゃんけん大会で順番を決め各自がお土産にいただきました。また、香川県でやっている天文活動の拠点「天体望遠鏡博物館」のチラシも持って来てくれて、博物館の紹介やエピソードを楽しく拝聴しました。是非行って見たい博物館の一つです。単身運転ですから心配でしたが、先ほど無事に帰着したと連絡安心しました。多田さん・・・お疲れ様、そしてありがとうございました！また会いましょう！！

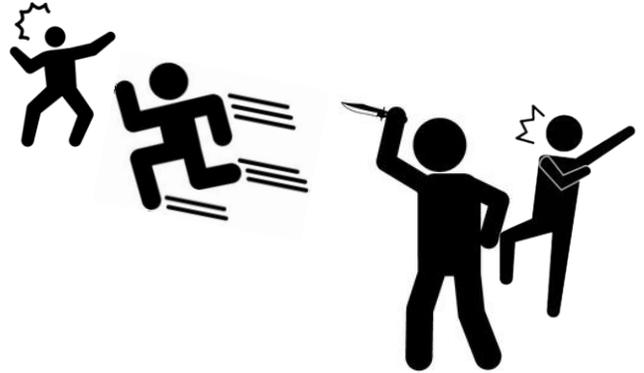
T田さんのお土産その②



香田さんのお土産争奪じゃんけん大会



⑭今月も 会員の古長さんが、ご実家で栽培している立派な梨を持って来てくれました。大きな梨で驚きました！！
 毎度ありがとうございます！！
 多田さんがササッと剥いてくれまして皆で美味しくいただきました。古長さんが持参の包丁を忘れて早退したので、慌てて「古長さん、包丁忘れてるで！！！」と追いかけてましたが、はたから見たらどんな風に見えたのでしょうか！！！！（爆笑）



⑪今月の例会にはも一人お客様がきました。

奈須さんが個人でやっているFBの「新大分天文協会友の会」は非公式とはいいいながらほぼ公式ページのように賑わい、皆さん楽しく情報交換等されてます。そこには会員以外の方でも参加できます。以前からそのFBに熱心に天体写真や自作の観測所・天文活動などを投稿してくれている、豊後高田在住の安元さんという方が居ます。
 その安元さんと同じく豊後高田在住の会員の小田さんが知り合いで、一緒に参加してくれました。ネット上ではよくお話ししますが、リアルに会うのは初めてで、不思議な感覚ですね。遠くまで参加ありがとうございました。例会で体感された通りの会です、良ければご希望であれば、いつでもご入会下さい！



⑫望遠会・・・じゃ無く、忘年会シーズンとなりました。

天文協会の忘年会は月齢などを考慮し
 12/2(土)月齢：14
 に開催したいと思えます。会場など探す都合で1次募集として1/5までに現時点の出欠をお聞かせください。
 11/01時点
 参加(10名)：足立・丸野・安元・小田・津田・吉野夫婦・奈須・山本・藤吉
 不参加(名)：田崎
 未定(名)：



⑬写真集について

川端副会長からの提案でしたが、急用で例会に参加できなくなったので奈須さんが代わりに説明されました。以前から写真集作ろう！！という声があったのですが、事務局の怠慢で話が進みませんでした、もうしわけありません。
 そこで川端副会長から、
 きちんとした写真集は別として、最近会員の皆さんが頑張ってる観測・撮影してるので、その成果を本と言う形にしましょう！
 とりあえず、試しとして簡単なフォトブックにしましょう。
 と連絡があったようです。
 事務局としては会員全部に声掛けてどんな写真を各自何枚、データはどのような書式で統一・・・とかを考えたんですが、そんなこと言うてるより、まずはお試しに1冊作ってみましょう！
 色々条件を付けず、例会に参加した方の中からだけでも参加したい方が自慢の写真を1枚でも複数枚でも川端さんに送ってください。コメントなども自由です。
 と奈須さんからの話でしたので、参加したい方は川端副会長に自由に送ってください。まずは作ってみませんか？
 ただ、フォトブックの半額キャンペーンは11/13までのようですから、遅くとも11/7~10くらいまでに川端さんに送ってください。
 楽しみですね！



九重青少年の家 公開天体観測及び写真撮影会・開催されました

生憎の雨模様でしたが、無事開催されました。大分市から1時間半以上、熊本市から2時間近くの九重の山の中まで、ご苦労様でした！！！！こんな天気でしたので参加者は多くはなかったのですが皆さんとても熱心でした！ただ・・・ここ数年特に目立つ事ですが、このようなイベントに参加する子供たちが低学年が多い事です。本当にその傾向が強いので色々調べると、子供たちも高学年に成ると部活などが忙しく時間がとれないそうです。スポーツを否定するわけではありませんが、大分県は科学館が無い全国で数少ない県（沖縄・大分のみ）で、しかも部活に文科系が激減してるそうです。子供たちがたとえ天文が好きでも学べる・遊べる機会に恵まれてません。また、天文が好きだとしてもスポーツも好きなことは当然です、そのスポーツに入ると、練習・試合が多く他のことは中々時間が無くて出来ないと聞きました。子供の頃は多くの体験をしてその中から自分で好きな分野を選択できるのが良いのではないのでしょうか？子供のころからある分野だけに特化するべく練習漬けに成るのは如何なものかと心配に成りますね。

事務局

九重青少年の家 公開天体観測及び写真撮影会

日時：2017年10月14日(土)

17:00~20:00 (集合15時)

場所：九重青少年の家

担当者5人：山本・川端・奈須・足立・(古長：主催者)

参加者：8組24人

星が綺麗な大分県、その中でもトップクラスの久住(くじゅう)・九重(このえ)！！その九重にある青年の家で、観測会及び天体写真撮影会が企画され、その講師を依頼されましたので、上記の5名が対応いたしました。あいにくの雨となりましたが、折角遠くまで来てくれた参加者の皆さんに喜んでもらうべく以下のような雨対応を企画しました。講師の皆さん、遠路ご苦労様でした！！！！

1. スマホ撮影練習中

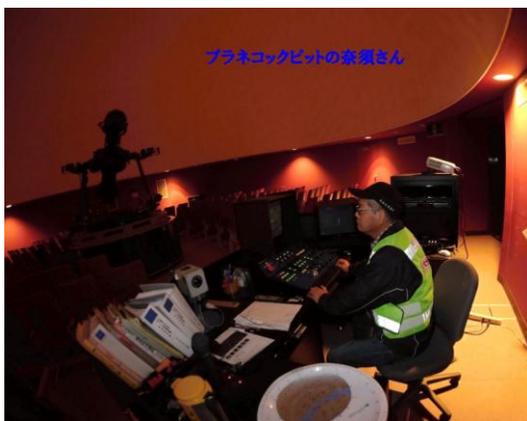
15時に集合して準備しました。

川端副会長自作の3Dプリンター製のスマホアダプターを使っての土星の撮影の練習をしました。



2. ブラネコックピットの奈須さん

講座の場所は、青年の家のブラネタリウム室です。ミノルタ製のMS-10が鎮座しています。そのコックピットにて奈須さんがポーズを！・笑



3. 天体写真講座解説中

開会式・挨拶などがすんで、まずは天体写真の撮り方講座。今回は、デジカメ固定撮影とスマホを望遠鏡に付けての土星の撮影です。

まずは、市販のカメラの固定撮影でどのような星空が撮れるかをいろいろ紹介いたしました。次にデジカメを使っての撮影方法を協会作の資料に基づき解説しました。ついでにお土産として、10月の星空観察の手引きも作成しましたので配布し説明いたしました。以上は山本が解説を行いました。続いて、川端さんがスマホを望遠鏡に付けての撮影解説を行いました。



4. ブラネの星空を撮影

解説の後は撮影会です。雨が降ってましたから当然本物の星空撮影は無理ですので、ブラネを利用してその星空を撮影してみることにしました。カメラを持ってこなかった方には講師のカメラをお貸し、それぞれに講師がついて指導させていただきました。ただ、お持ちのカメラはコンデジばかりで、流石の星屋の講師も、初めてのコンデジで操作がわかり難い事が多く苦戦しましたが、何とか皆さんブラネの星空を写せたようです！！特に自分のカメラで写した方など大喜びでした。一点だけ・・・実際のピントは無限大ですが、ブラネの星空を撮影する時は無限でないのであしからず・・・！撮影した星空は如何でしょうか？天の川もはっきり(赤みが強いが)写ってました星像も綺麗ですね！このブラネはミノルタ製のMS-10のアナログ機ですが、青年の家が1983年開所ですから約34年たってますがまだまだしっかり活躍しています。アナログ投影機はデジタル投影機に比べ多機能ではありませんが星像などは綺麗です。投影ドームのメンテなどあまりやっていないと思われるので、明るさが多少落ちてることを考慮するととてもいい状態です。ただ、操作する方が、専門の職員がいるわけで無く、青年の家の職員の中の数名が操作するだけなので、普段は決まったブラネ番組を投影するだけだそうです。今回、ブラネの星空撮影に当たって、星の日周運動も撮影したいと希望したのですが、ブラネ番組をセットしてのてマニュアル操作をすると番組のセットが解除されるかもしれないので勘弁してくださいと断られました。事前に頼んでいたら対応できたのでしょうか、急なお願いで申し訳なかったです。でも・・・普通出来ますよね？担当の方は学校の先生の様で、特に専門家でなく単に担当の様でした、数年間居て転勤されるであろうから仕方ないかもしれませんが、もったいないですね。もっとメーカーさんが行う研修会や、各団体の講習会・研究会などに参加して勉強できないものでしょうか？

個人的な話で申し訳ないですが、この青年の家、山本が以前いた設計事務所設計した建築で、そのチームに属していましたからブラネは特に思い深く懐かしかったです。



九重青少年の家 公開天体観測及び写真撮影会・開催されました

5.望遠鏡+スマホ撮影会

続いては望遠鏡にスマホをくっ付けての土星・月の撮影体験です。こちら本物の天体は無理なので、本物の土星と月を撮影した写真を廊下の突き当りに貼って、そこに望遠鏡を向け撮影しました。



望遠鏡+スマホ撮影会

6.望遠鏡で土星（の写真）観測中

撮影する前に、本物の土星（の写真）をみんなで見ました（笑）



望遠鏡で土星（の写真）観測中

7.スマホで土星（の写真）撮影中

スマホは、川端副会長が3Dプリンターで作ったスマホアダプターを付けて望遠鏡にセットしました。使い勝手の良いスマホアダプター…流石工作の名手：川端氏です！土星の写真は、廊下のずーと奥の突き当りです！



スマホで土星（の写真）撮影中

8.カッシーニの冒険解説中

最後に、カッシーニのNASAの動画を紹介してその活躍・成果などを皆さんに川端副会長が解説いたしました。この場で終わりの会もしましたが、奈須さんから参加者に星座のグッズなどがプレゼントされました。終わった後、参加者の子供たちが一緒に記念撮影してくださいと言って来て講師の皆と一緒に写りましたが、嬉しい申し出でした！！



カッシーニの冒険解説中

9.観測会の天文協会スタッフ5人衆

今回講師で参加した天文協会会員です、皆さんお疲れ様でした！



観測会の天文協会スタッフ5人衆

足立さんテレビ出演！

大分天文協会会員の足立さんの天体観測所（高山天文台）が地元臼杵のCATVで紹介されました！星仲間もつれて来いと言われたようで、私（山本）と津久見の薬師寺さん・庄内の菊池さんにも召集がかかり駆けつけました！天文に復帰して僅かの足立さんですが、ものすごい勢いで頑張ってます。大分天文協会の中高年のスター☆彗ですね！ますます楽しんでご活躍ください！

事務局



内那さん250個目の彗星連続発見!

大分天文協会の内那さんがまたまた新彗星を発見されました。おめでとうございます!!!!

素晴らしい一言です!

今年26個目、通算250個目だそうです、素晴らしいですね! ご苦労様です&おめでとうございます!

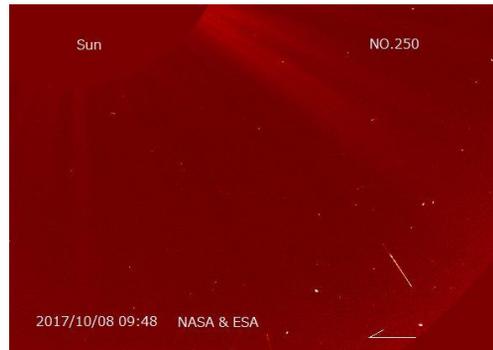
事務局

20171009配信 No3957

内那 政憲

体育の日で休日ということもあり、早めに起床、4時半頃から、画像チェックを開始したのですが、早起きは三文の徳(得)ということなのか、運良く、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2画像の、2017/10/8、09h48m~10h00mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見することが出来ました。09h48mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=864、Y=1006、(1024X1024、Upper Left)です。

画像の右下に出現し、太陽方向に移動して見えなくなりました。小さく、微かな光芒の彗星です。今年26個目、通算では250個目の彗星となりました。
I discovered a Kreutz- group comet in LASCO-C2 images of Oct/08/2017.



内那さん251個目の彗星連続発見!

大分天文協会の内那さんがまたまた新彗星を発見されました。おめでとうございます!!!!

素晴らしい一言です!

今年27個目、通算251個目だそうです、素晴らしいですね! ご苦労様です&おめでとうございます!

事務局

20171029配信 No3985

内那 政憲

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2017/10/29、02h00m~02h12mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。

02h00mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=107、Y=67、(512X512、Upper Left)です。赤色の画像の方の彗星のピクセル座標は、X=809、Y=989です。(1024X1024、Upper Left)

今年27個目、通算では251個目の彗星となりました。
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Oct/29/2017.



内那さん252個目の彗星連続発見!

おめでとうございます!!!!素晴らしい一言です! 251個目に引き続き、同日連荘の新彗星発見です、凄い&素晴らしい一言ですね!

今年28個目、通算252個目だそうです、素晴らしいですね! ご苦労様です&おめでとうございます!

事務局

20171029配信 No3989

内那 政憲

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2017/10/29、21h12m~21h25mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。

21h12mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=128、Y=69、(512X512、Upper Left)です。赤色の画像の方の彗星のピクセル座標は、X=767、Y=984です。(1024X1024、Upper Left) 今年28個目、通算では252個目の彗星となりました。同日に2個の発見は、久しぶりのことです。

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Oct/29/2017.



月地下に長さ50km超の巨大空間が、、、

川端さんから、マリウスとマリウス丘等の画像が届きました。ありがとうございます!

この付近に巨大地下空間が有るのでしょうか? 月面宇宙基地を作る際は、宇宙船や気温などの事を考えると地下が適しているそうですから有力候補地でしょうか? 月周回衛星「かぐや」の観測成果に関する記者説明会の動画は以下です、お時間あるときにご覧ください。

<http://fanfun.iaxa.jp/jaxatv/detail/10850.html>

巨大な溶岩チューブの空間、月の創成期の地殻運動を想像するとワクワクしますね! 50キロにも及ぶ空間の発見・・・凄いな!

事務局

20171018配信 No3971

川端 孝幸

時事からみて恐縮です。当方も9月3日の写真から。右下カルパチア山脈から左上のアリスタルコス。左下に目お移すとお目当てのマリウスとマリウス丘のぶつぶつが見えます(^^)



2012TC4 本日地球最接近

津田さんから表記の情報をいただきました、ありがとうございます。

地球接近天体・・・大変危険な代物ですね！今回はその距離僅か5万キロ！！中心間距離ですから地表からでは4.4万³o！近いですね！

事務局

20171012配信 No3963

津田 剛

直径10～30メートルの小惑星が12日午後2時42分（日本時間）、地球の約5万キロ上空まで近づく。この小惑星の姿を東京大木曾観測所（長野県木曾町）が10日夜、撮影することに成功した。小惑星の動きを監視している米航空宇宙局（NASA）によると地球に衝突する心配はないという。

地球に近づく小さな天体は「地球接近天体」と呼ばれ、これまでに約1万7000個見つかっている。約6550万年前の恐竜絶滅につながった直径約10キロの小惑星や、1908年にシベリアに落ちて「ツングースカの大爆発」と記録されている約60メートルの小天体のように、地球へ衝突し大きな被害をもたらしたのものもある。最近では、2013年にロシアに直径約20メートルのチェリャビンスク隕石（いんせき）が落下し、約1500人がけがをした。宇宙航空研究開発機構の探査機「はやぶさ2」が向かう小惑星「リュウグウ」も地球接近天体の一つだ。

今回の小惑星は「2012TC4」と呼ばれ、12年に米ハワイにある望遠鏡で発見された。同年には地球の上空約9万5000キロを通過し、今回はそれより近づくものの静止衛星の軌道（約3万6000キロ）よりも外側のため人工衛星などへの影響はない。東京大木曾観測所は10日午後9時56分から1時間、口径105センチの望遠鏡に広視野高速カメラ「トモエゴゼン」を搭載して観測した。明るさは17等級だった。同観測所は「直径10メートル以上の小惑星は地球に突入した際、燃え尽きずに地表に達する可能性がある。このような観測を重ねることで、衝突危険性のある天体の軌道を正確に求める技術開発にもつながる」と説明している。

【永山悦子】（ウイン10）

木曾観測所のtomo-e-gozenが本格的に稼働開始しました。その画像を東京大木曾観測所からお借りして添付いたします。そちらの記事もご覧ください！

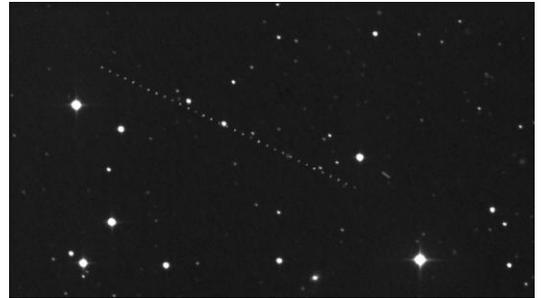
<http://www.mtk.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/NEWS/2012TC4/2012TC4press.html>

画像提供: 東京大学木曾観測所

静止画データ

動画データを110秒毎に切り出して重ねた画像

2012 TC4の光跡を直線に並ぶ点源の集まりとして確認できる画像右中央に確認できる光跡は、既知の小惑星1999 DB1（直径2.9km、距離1.85億km）



3Dプリンターでファインダー脚作ってもらいました

20171009配信 No3974

山本 幸司

愛用のミヤウチ10cm対空双眼鏡、見え味抜群のmy宝物で、あちこちの観測会でも大活躍してくれますが、彗星など暗い天体の導入の時にファインダーが欲しいと以前から思っていました。メーカー製品はあったのですが、買わないうちに会社が星の世界に旅立ってしまい（本当に残念）後悔していました。3Dプリンターでスマホアダプターなどを作成販売している川端副会長に相談したら、早々、3Dプリンターでファインダー脚を作ってくれました！！！！素晴らしいです、ありがとうございました！！！！取付けたファインダーは49年前のEIKOW エイコー製望遠鏡のファインダーです。再度活躍する場が出来ました！3Dプリンターの便利さと川端副会長の器用さには毎度驚かされます！



フィルターテスト

川端さんからASI224MCカメラにフィルターを付けてのテスト報告が届きました。ありがとうございます。いい感じですね！！！！全国の猛者さんたちの技術工夫の一端が見えます。引き続き頑張ってください！

事務局

20171025配信 No3978

川端 孝幸

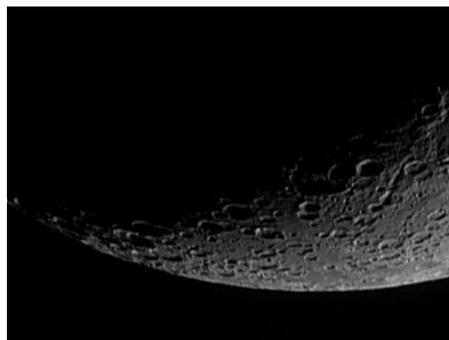
10cmマクストフ+ASI224MCを使って、SC66およびIR76のテストを行いました。渡辺さんや長尾さんの驚異の月画像を拝見して、フィルターの効果を試してみました。

効果は一目瞭然。奥が深いですね。肉眼では暗いフィルターですが、224では結構明るく写ります。これからはフィルターワークも勉強です(´ω´)

一枚目：ノーフィルター、

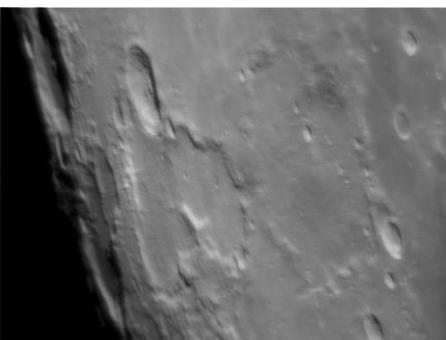
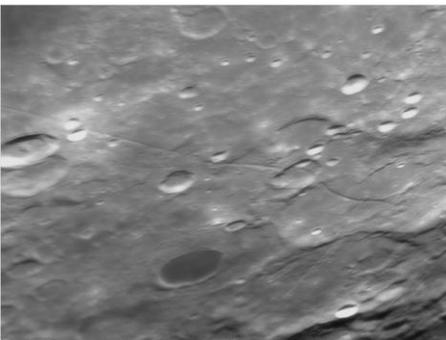
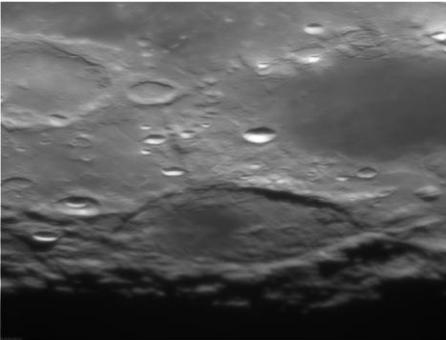
2枚目：SC66、

3枚目IR76



20171005配信 No3950

スママセン！例会サボって名月の欠け際
 川端 孝幸 を楽しんでますm(_ _)m
 結構シーイング良いです(^ω^)



20171005配信 No3951

IC1396 (ケフェウス座散光星雲)
 山本 幸司

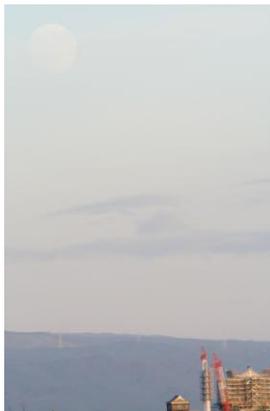


日 時：2017.10.01 01:55~03:03
 撮影地：大分県大分市・香りの森付近
 機 材：PENTAX 100SDUF II F=4 f=400mm
 iEQ45Pro赤道儀 (ノータッチガイド)
 SEO-COOLED 60D冷却なし
 ISO：1600 179sec×22枚(総露出：65分)
 DSSにてコンポジット (dark11/flat32)
 AutosaveFts→tif16bit処理
 PhotoshopCS2・S1にて画質処理

20171005配信 No3952

昨夜の名月と熊本城
 川端 孝幸

300mmでギリギリの構図でした。2日も満月とズレると、いろいろ難しいですね。1200mmでそれぞれの状況も添付。出てきたお月様も真っ白です。お城の方では午後6時近いのに慌ただしく工事の方が動いています。お疲れ様です。



20171006配信 No3953

ガーネットスター付近
 山本 幸司

フラットが上手く合わないでノーフラットで
 周辺減光部の外周を切り捨てました(無念です!)
 フラット作りが上手く行ったら再処理したいです。

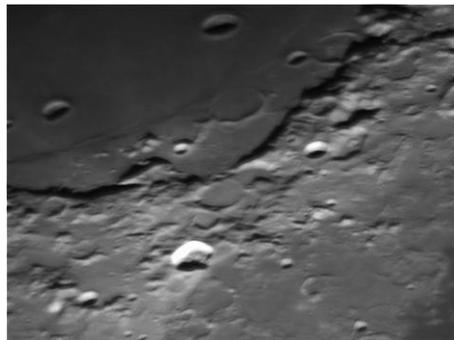


日 時：2017.10.01 01:56~03:02
 撮影地：大分県大分市・香りの森付近
 機 材：iEQ45Pro赤道儀 (ノータッチガイド)
 Nikon D810A ISO:1600
 Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2→3.2)
 176sec×22枚(総露出：129分)
 (dark11枚/flatなし)
 NEFファイルをDSSにてコンポジット
 AutosaveFts→tif16bit処理
 S18・PhotoshopCS2にて画質処理
 周辺を切り捨て

20171008配信 No3956

十六夜の欠け際探訪
 川端 孝幸

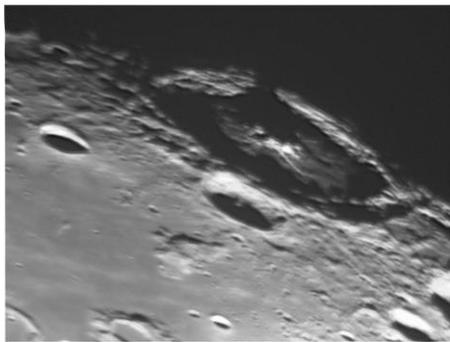
気流は残念ながら悪かったのですが、快晴でしたので少々夜更かしして楽しみました。



1) オニール橋付近



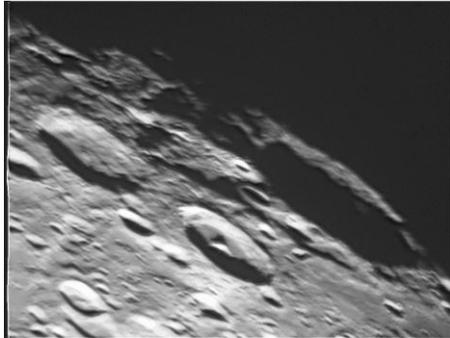
2) タルンティウスから麻田



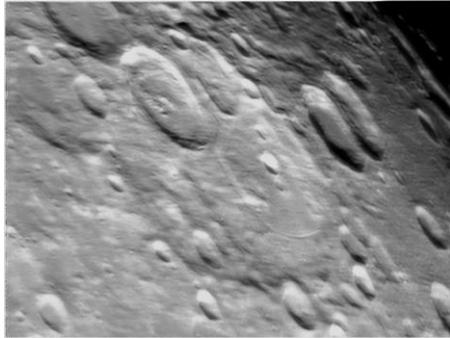
3) ヘタヴィウス



4) ゲーキ連峰からアンドルソフ連峰



5) スネリウス、ステビヌス、フルネリウス



6) ジャンセン付近

20171009配信 No3959

M20 再処理画像

兵頭 健一

先日M8の画像処理の際に、藤吉さんはじめベテランの方々から頂いたアドバイスをもとに、前回と同じく5月撮影のM20の再処理に挑戦してみました。撮影カメラ(富士 X-T1)のウィークポイント: 画面下端のノイズがやや目立ちますが、中央の星雲や周囲の星々の色は、以前よりも鑑賞向きに仕上がったと思います。



日時: 2017年5月28日 1:36~1:50
場所: 愛知県北設楽郡東栄町御園
機材: 富士フィルムX-T1
ペンタックス105SDHF+専用レデューサ
(合成焦点距離504mm)
露出: 露出40秒×14コマ ISO3200

浅草の中秋の名月
兵頭 健一

しばらくは出張予定と月齢との巡り合わせが悪くて、闇夜にお出かけできる見通しが立たない状況ですが、過去データを使って練習を続けていきたいと思えます。出張帰りに、浅草で撮影した中秋の名月(ほぼ風景写真ですが、^^)も、おまけで添付させていただきます。



17夜と16夜のジャンセンの変化
川端 孝幸

昨夜の17夜と16夜のジャンセンの変化を比べてみました。何れも22cmニュートン+Or18mm+ASI224MC 1700枚余りのスタック処理になります。



20171010配信 No3961

月とアルデバラン

藤吉 健児

早寝するつもりが、あまりに月とアルデバランが接近していたので3時半まで起きて撮影してしまいました。残念ながら、別府市では掩蔽にまで至りませんでした。



Takahashi SKY90(D90f407RD)
ZWO ASI290MC
FireCapture V2.5 Gain155 Gamma80 Exp0.450ms
1000Fr Takahashi EM200(AGS-1)
AS13で60%スタック
2017.10/10 02:43AM(JST) 2コマモザイク
2017.10/10 03:12AM(JST) 2コマモザイク
よかったらYOUTUBEもどうぞ
<https://youtube.com/9woA-FUyk6Q>

月とアルデバラン接近中
山本 幸司

お手軽300mm望遠鏡手持ちです(笑) 東北の方ではアルデバラン食(月がアルデバランを隠す)ですが、大分では隠れるま出には至らず、接近するにとどまりました。自宅で望遠鏡を出すスペースが無いですし、車に積んで遠征もぎつなかったので、お手軽観測となりました・笑 月とアルデバランの光度差が大きいので月に合わせた露出の画像と、アルデバランに合わせた画像を比較明合成して中間的な画像としています。小望遠鏡や双眼鏡で見た感じに近いかな?

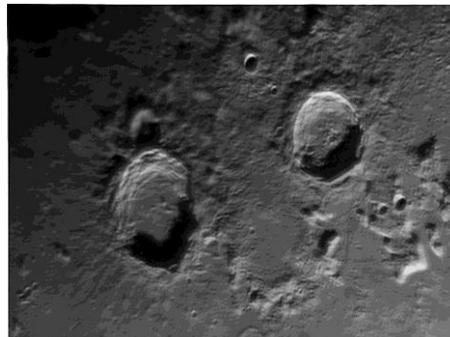


2017.10.10 02:10
2017.10.10 02:54

20171012配信 No3963

アリストテレスとエウドクソス周辺
川端 孝幸

まずは渡辺さんから指摘頂いたハイライト処理の試行錯誤です。レジスタックス6処理のtiff画像からステライメージ6でレベル調整他を実施してみました。白飛びはだいぶ改善されたかな。ん~なんだかですがRS6だけで行っていた手抜き処理よりは少しマシな感じです。ASでのスタッキング問題は次回ということで(;'ω')

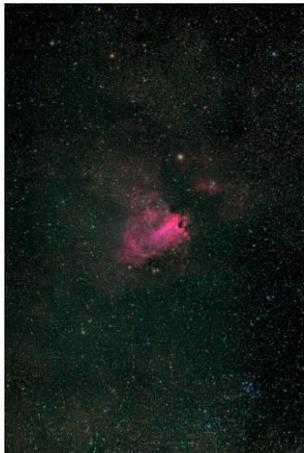


2017-10-11 01h17m58s
22cmニュートン+Or18mm+ASI224MC
1740frame stack
RS6+ステライメージ6処理

20171015配信 No3968

再処理：M17
兵頭 健一

DSS autosave.tifからの、季節はずれ再処理シリーズその4 (M17) です。白鳥部分が色飽和しないギリギリ狙いで彩度も調整してみました。M20よりも感度を上げて1コマあたりの露出を切り詰めたせいか、かなりノイズな感じからは脱却できてません・・・次の機会には、もっともっとコマ数を稼いでおこうと思います。次回からは、旬の天体（おそらく撮影は昨シーズン。^^）で投稿したいと思います。



日時：2017年5月27日23:21~23:35
場所：愛知県北設楽郡東栄町御園
機材：富士X-T1 ペンタックス105SDHFD
+専用レデューサ（合成焦点距離504mm）
露出：20秒×25コマ ISO6400

20171022配信 No3975

2017.08.23 M31
山本 幸司

秋晴れの十月のはずが秋雨前線再来襲に、おまけに超大型台風・・・なんてこった！！！！恐れていた、星見たい病が再発してしまい、対症療法で何か現像しないと大変なことに成りそうですから過去画像を探したら・・・8/23に撮影したM31のデータが未現像でありました。なんで現像しなかったのかな？ と、かすかな記憶をたどったら・・・雲の来襲で11コマ（20分）しか撮影できず、おまけに慌ててISOを確認用の6400から戻し忘れてそのまま6400で撮影してしまい、おまけにdarkもflatも無しですから、ぼたっていた画像です。いつも通りに現像処理したら、やはり見難かったので背景をかなり暗くしてごまかしました。何とかみられるかな？（汗）これで数日は我慢できそうです、まだ未現像が無いか探さないと・・・！！（´▽`）ケラケラ



日時：2017.08.23 23:40~23:59
撮影地：大分県大分市・香りの森付近
機材：PENTAX 100SDUF II F=4 f=400mm
iEQ45Pro赤道儀（ノータッチガイド）
Nikon D810A ISO:6400
22sec×1枚+118sec×10枚（総露出：20分）
（dark/flatなし）
NEFファイルをDSSにてコンポジット
Autosave(32Bit)処理
S18・PhotoshopCS2にて画質処理

20171023配信 No3976

Before After シリーズ・M8
山本 幸司

Facebook版「新大分天文協会友の会」の中で画像処理の情報がにぎわってますが、ここ最近ではDSSにてコンポジット後に、Autosave(32Bit)から画像処理する方法で特に盛り上がっています。この方法は、藤吉さんが考案してその手法を惜しげもなく公開してくれまして、瞬間に広がり、会員の多くの方が過去の画像などを再処理してその出来上りの差に驚いて投稿しています。まさに、Before After！！！！（その成果をインフォメーションにも投稿してくださいね・笑）山本も、遅れてはならぬと以前の画像を引っ張り出して再処理してみました、如何でしょうか？
無論、Autosave処理だけの差ではなく、ほかにも多くの手法を少しずつ学んだ結果かもしれません、色合いの豊かさは藤吉式Autosave処理の賜物でしょう！星空の画像処理する方々にとっては為になったともいます。今年の貢献賞（いつできた？・笑）最有力候補かもしれませんね・笑
上：Before
下：After
元データは以下です。1年半の画像処理の差をご覧ください。



2017.05.27 M8（干潟星雲）
日時：2017.05.27 01:30~02:01
撮影地：大分県大分県竹田市久住・滑空場
機材：PENTAX 100SDUF II F=4 f=400mm
iEQ45Pro赤道儀（ノータッチガイド）SEO-COOLED 60D ISO:3200
119sec×25枚（総露出：50分）
DSSにてコンポジット（darkなし/flatなし）
PhotoshopCS2・S1にて画質処理

20171025配信 No3978

今日(10/24)の月（モザイク合成）
川端 孝幸



セレストロン4S+ASI224MC+HR76フィルター
RS6処理 1800stack

20171026配信 No3979

今日(10/25)の月（モザイク合成）
川端 孝幸

高度がある分、昨日より気流が良かったようです。10cmマクストフ+R76フィルター+ASI224MCガンマ値を上げてみました。モノクロの仕上げは苦勞します(´ω`)



20171026配信 No3980

2017.10.24-25 香りの森
山本 幸司

久々の晴れとなりました（嬉）細月沈むころを香りの森で見れる幸せに浸りながら機材の準備にかりましたが、星空とは反対に今夜は機材トラブルが連続！・涙 いずれも電源系のトラブルで参りました。それでも綺麗な星空、オリオン群の流星がいくつも流れますが、やはり速度が速いものには驚きます。ようやく赤道儀が動き出したと思ったら東から雲が来襲・・・晴れそうな気もしましたが、トラブルで少々疲れましたので撤回いたしました。幾枚かは撮れましたが現像は後日、取りあえず、出撃記録のほったからし固定撮影のみ現像。タイムラプス動画も通常と比較明をご覧ください。星果は（せいか）は少ないものの綺麗な星空を久々に堪能でき生き返りました！！



20171027配信 No3981

今日(10/26)の月
川端 孝幸

今日(10/26)の月なかなか良い気流でした！大急ぎでモザイク(ω)仕上げは後日、おやすみなさい。



10cmマクストフ+IR76フィルター+ASI224MC

20171028配信 No3982

M45
藤吉 健児

10月に入ってから、雨 曇り 雨雨 曇り 台風という星屋立かせの天候が続きましたが、台風の後、わずかに晴れ間が訪れました。透明度はよくなかったようですが、自宅からM45を撮影してみました。なかなか満足のいくフラットができず苦悩していますが、自宅からにはよく写ったかなあ??と思います。



Takahashi SKY90(D90f407RD)
Canon EOS 70D(lr) ISO1600 60秒×141Fr
Takahashi EM200 半自動ガイド(手動ディザリング)
2017.10.25自宅庭より
DSS AdobePSCS2(32Bit) S18 NeatImage

20171028配信 No3983

IC1805ハート星雲とIC1848胎児星雲
山本 幸司

赤い散光星雲の中でも独特の形の両星雲です。400mmにCAPSC機では両星雲を一度に撮影するのは苦しく、フルサイズ機を導入で来たらまず撮りたいと夢見ていました。この星雲は淡く、写り具合は空の条件に影響されます。この夜は久々の快星でしたが透明度は悪いうえに、大分市方向の光害で1枚の露出が長く掛けられすかなり無理した画像処理となりました。おまけにバッテリー切れでダークを撮れないという失敗もあり、滑らかな仕上がりににはなりませんでしたが、長年の宿題が一つクリアできとても嬉しいです！



日 時：2017.10.25 22:06~24:03
撮影地：大分県大分市・香りの森付近
機 材：PENTAX 100SDUF II F=4 f=400mm
iEQ45Pro赤道儀 (ノータッチガイド)
Nikon D810A ISO:3200
118sec×60枚(総露出:118分)
(dark0/flat20/darkflat20)
NEFファイルをDSSにてコンポジット
Autosave(32Bit)処理
S18・PhotoshopCS2にて画質処理

20171029配信 No3984

M33
足立 紀彦

RC250とEOS6Dで撮影したM33を投稿します。RCはフルサイズでも対応できるイメージサークルをもっていることが今頃になって分かりました。スケアリング不良により、一隅角に像の乱れがあります。



撮影日時：10月26日 23:12'0:33
露 出：ISO3200.240sec x 20exp(Total exp=80min)
機 材：GS-250RC/CT(ID=250mm,FL=2000mm 0.75xRD=1500mm)、EOS6D、EQ8PRO、PHD2オートガイド (ZWOASI120MM-S+FC76)
処 理：DSSのAutosave画像を PhotoShopCC2017、Stellalimage8で処理
撮 影 地：大分県臼杵市 高山観測所

20171030配信 No3986

荒天の再画像処理パート1
藤吉 健児

再処理した画像も送っていいよ、というメール内容をいいことに、大量にご報告いたします(笑) 最近画像処理の手法に目覚めたことがありまして、直近撮影した画像をやり直してみたところ、化ける化ける！やりすぎないように注意しないと・・・ まずは干潟星雲、三裂星雲、網状星雲、アンドロメダ銀河の4つです。(2Mにおさめるため、二つに分けてご報告します)



20171030配信 No3987

荒天の再画像処理パート2
藤吉 健児

再処理した画像も送っていいよ、というメール内容をいいことに大量にご報告するパート2です。秋冬の天体である、さんかく座銀河、カリフォルニア星雲、ハート星雲、勾玉星雲、の4つです。M33はここまで濃く表現できるとは・・・ カリフォルニア星雲は、濃くなりすぎて困るほどIC405の燃える星と呼ばれる上部のめらめらやIC410のおたまじゃくし星雲と呼ばれる部分がここまで表現できたのは初めてかな?と思います(笑) (2Mにおさめるため、二つに分けてご報告しました)



20171101配信 No3992

魔女のエステ効果

藤吉 健児

10/31未明の撮影をご報告します。10/30の0時ごろまで雲が増えていたのですが月を見ているうちに雲が晴れ、M35と魔女の横顔星雲が撮影できました。魔女の横顔は前回撮影時はノイズまみれであばただけ、になりましたがディザリングの効果や、画像処理方法を変えたことですいぶんつるんとした美肌効果が得られたのでは??と思っています(笑)



1-1 ふたご座の散開星団M35とNGC2158
Takahashi SKY90+RD
Canon EOS Kiss X7i(lr) ISO1600 90秒×40Fr
Takahashi EM200(AGS-1L) ノータッチ
2017.10/31未明 自宅庭より
DSS(L40D25F50DF50B80) KappaSigmaClipping
Sat17%
PSCS2 S18 NeatImage



1-2 魔女の横顔星雲 IC2118
Takahashi SKY90+RD
Canon EOS Kiss X7i(lr) ISO1600 90秒×84Fr
Takahashi EM200(AGS-1L) 途中まで手動ディザ・(^ω^)
2017.10/31未明 自宅庭より
DSS(L84D25F50DF50B80)KappaSigmaClipping
PSCS2(32Bit) S18 NeatImage
(画像は南が上)

20171101配信 No3993

小口径で撮る月(3) +α

川端 孝幸

昨夜の月、モザイクさらに追加(^ω^)
(所感) IR76フィルターの効果はなかなかのもので、ASI224MCとの相性がバッチリな感じですが。見た目はほぼ真っ黒なフィルターで写るのですからふしぎですね。



4SE+ASI224MC+IR76フィルター (×4モザイク)

また、この三つは単焦点の方が面白い、と、望遠鏡で撮影したことはなかったぎょしゃ座の3つの散開星団も撮影してみました。2012年2月に初めてくじゅうに出撃した時のぎょしゃ座の画像も併せてご紹介いたします。



1-1 とも座の散開星団M93 2017.10/26



1-2 ぎょしゃ座の散開星団M36 2017.10/25



1-3 ぎょしゃ座の散開星団M37 2017.10/25



1-4 ぎょしゃ座の散開星団M38 2017.10/25
以上4枚SKY90+RD EOS70D 自宅庭より



1-5 くじゅう高原でのぎょしゃ座 2013.02/10
小田の池レストハウスより
Tamron 24mmF2.5 Kiss X4 (lr) 1枚物



20171030配信 No3988

小口径で撮る月(〇〇)

川端 孝幸

ネットに覆われた当ビル。長雨と台風のおかげで工事は遅れて遅れてます。もうしばらくの間10cmマクストフで楽しみましょう。台風一過、クリアになりました。



セレストロン4SE+ASI224MC+IR76フィルター

20171031配信 No3990

今日(10/30)も月(〇〇)

川端 孝幸

さすがに冷え込んでゆらゆらでした。



4SE+ASI224MC+IR76フィルター (3枚コンボジット)

20171031配信 No3991

散開星団ズ

藤吉 健児

メシエ制覇を目論んでいたとき、撮ったことがない天体の最後に残ったのがM93でした。撮影好機に突入する前に辛抱たまらず電線や低空の霧と闘いながら撮影しましたが、もちろん画像は散々・・・あんまりなので撮り直しました。

表紙コメント

M33

RC250とEOS6Dで撮影したM33です。RCはフルサイズでも対応できるイメージサークルをもっていることが今頃になって分かりました。スケアリング不良により、一隅角に像の乱れがあります。

～～索引～～

例会	01	2018年011月例会
イベント報告	03	九重青少年の家 公開天体観測及び写真撮影会
協会ニュース	04	足立さんテレビ出演！
	05	内那さん250～252個目の彗星連続発見！
天文ニュース	05	月地下に長さ50km超の巨大空間が、、、
	06	2012TC4 本日地球最接近
天文機材	06	3Dプリンターでファインダー脚作ってもらいました
	06	フィルターテスト
写真集	07-11	報告画像ギャラリー

編集：2018年07/22

収載画像 インフォメーション (NO.3950) から
インフォメーション (NO.3994) まで

編集者：藤吉健児

発行責任者：山本幸司（会長）

記事内容などに質問・ご意見有るときは
大分天文協会事務局までご連絡ください。

大分天文協会事務局

〒870-0924大分市牧3-13-30

TEL：097-556-9565 FAX：097-556-5067

お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

<http://astro-oita.org/>



大分天文協会

Astronomical Society of Oita